

令和5年度 第1回 学校運営協議会議事録

校名	府立むらの高等支援学校
校長名	森本 裕

開催日時	令和 5年 7月 5日 (水) 14:30~16:30
開催場所	共用棟2F 会議室
出席者(委員)	(会長) 荒木 寛巳 (副会長) 上國料 洋子 (委員) 石神 彰人 富田 雅信 三瀬 吉彦 浦塚 久美子 ※順不同、敬称略
出席者(学校) ※回覧	(校長) 森本 裕 【事務局】(教頭) 野村 佳津 (事務長) 山地 千里 藤川 泰生 速水 彬裕 重松 亮 橋本 義久 阿南 幸佑 岩里 哲朗 上田 航 遠藤 幸子 新澤 隼人
傍聴者	なし
協議資料	① 協議会次第 ②協議会委員名簿 ③参加者名簿 ④実施要項 ⑤運営計画 ⑥令和4年度/令和5年度 学校経営計画及び評価 ⑦時間割表 ⑧校時表 ⑨教育 課程表 ⑩進路年間計画、6期生進路状況 ⑪令和5年度教科書採択 ⑫「Smile&Music」振り返りアンケート ⑬土曜参観アンケート ⑭協議会傍聴規則
備考	後日、議事録を学校ホームページで公開

議題等(次第順)
1) 資料確認……………教頭より 2) 校長挨拶 3) 委員、事務局紹介……………教頭より 4) 協議会実施要項・運営計画……………教頭より 5) 報告 ・意見書の提出について ・R4 学校経営計画/評価、R5 計画 ・R5 時間割・教育課程について ・進路指導計画/6期生進路状況について ・R5 採択教科書/R6 選定状況 ・R5 むらの「Smile&Music プロジェクト」実施報告 ・土曜参観アンケート集計結果 6) 協議 7) 校長挨拶 8) 事務局より
協議内容(質問・意見の概要)
【委員からの意見交換及び協議】 <カウンセリングマインドについて> ・令和4年度の「カウンセリングマインドをもって生徒の相談に快く応じている」の肯定率が上がっている。 →カウンセリングマインドの肯定率が上がっているので安心している。下がった項目については、目標と個別の支援計画が生徒さん自身と結びついていないのではないか。カウンセリングマインドが上があれば、他の項目についても肯定的評価が上がってくるのではと期待している。 <行事見直しについて> ・行事の見直しをするということだが、どういった基準で検討されているのか。 ・コロナ禍からあけて再開・復活した活動があり、日程が混乱するかもしれないが、就労をめざしての行事だと思うので、人間力が上がって、そこが就労につながって生徒さんが成長していくと思うので、そこが気になった。 →(校長) 行事の見直しについては検討中。行事、業務などやらなければならないものとやった方がよいものと統合した方がよいものの仕分け等、優先順位をつけながら考えていきたい。目的に対し

て遠回りするものもあるかもしれないが、どれだけ外せないものがあるのか、精査していきたい。
→行事精選はどれだけやるか難しい部分がある。

<進路について>

- ・仕事がミスマッチングせずにやっていることはすごい。定着支援でよく感じることで、仕事はマッチングしているものの、疲れている方がいて、自分が得意な仕事ができても得意なあまりストレスを感じていると訴える方がいる。盆明けなどの休み明けにストレスになっている等の話を聞く。
 - ・実習だから2週間頑張れたけど、就労したらどこまで頑張ったら良いかと感じている方もいる。以前むらのの授業を見学した際に、休まずに働き続けることはしんどいことであることや、なぜそうしないといけないかを生徒に考えさせながら指導する場面があり、いいなと感じた。
- （校長）マッチングしても就労すると疲れてストレスを感じることもある。実習中は頑張れると思う。

<地域交流について>

- ・中学校への情報提供とは、具体的にどんなことか。
 - ・卒業式に出席した際、R4年度卒業生はしっかりした態度だと感じた。以前、体育を見学したことがあるが他の授業は見たことがないので見てみたい。村野区で行事交流があるので交流する機会があったらいいと思う。
 - ・村野区でクリーニングをお願いしているので、実際に作業を見てみたい。天の川カフェも一度利用してみたい。
 - ・地域との連携については、検討の途中にでも市に相談してもらえたらと思う。
- （校長）中学卒業後の進路指導に携わる中学校の先生が本校の特徴を知らない場合もあるので、本校のめざすところを中学校へ情報発信していきたい。

<保護者の立場から>

- ・定員割れについて、枚方支援からの希望者が減っている。高等支援は厳しいというイメージがあるのかなと思う。
 - ・我が子のことについて相談しても担任は同じことしか言ってくれないと子どもは言っている。前向きにというが、生徒にアドバイスの意図が本当に伝わっているのか気になる。
- （校長）枚方支援の中学部の先生もむらのセミナーに参加されて初めて知ることもあったと言っていた。オープンスクールに多く参加いただく予定なので、学校のことを正しく伝えていきたい。

<R5年度の取り組み内容について>

- ・昨年度の評価は精緻に作成されている。本年度も精査してバージョンアップしていく説明がわかりやすくまとめられている。R4年度の相談はどこに入っていくのか？R5年度1（1）「先生は自分のことをよく理解してくれている」に入るのか？
- （校長）生徒の相談は、専門性の向上やカウンセリングマインドをもって応じていく。本人との関係づくりができればうまくできるのではと思う。
- （生指）学年教員の実態把握ができ、その上で匿名性のあるいじめアンケートなどの定期的な相談は吸い上げる必要があると思う。
- ・いろいろなルートから相談できればよいと思う。教員も誰に相談したらよいのか悩まれることがあると思うし、保護者も例えば子どもの性についてどこへ相談したらよいのか悩まれていることもあると思う。子どもたちや性のこと・保護者からの相談も就労の面などで日々携わっている先生は良くみておられるので気づくことも多いのではないかな。

<まとめ>

- ・中学卒業段階での進路の話を聞くと、専修学校の進路も聞く。高等支援での特徴は必要で、むらのという地域で地域とのつながりもある他にはない特徴のある学校で、自己肯定感を高めていくような魅力を伝えていく必要がある。

- ・近年、支援学校の種別による細分化とともに校数が増える中、各校がその特色を積極的に発信していくことが中学校卒業時点における進路決定の一助となる。むらのにおいてもS & Mの取り組みをはじめ、音楽部の「おてらいふ」やスポーツ部の各大会への参加など、地域社会とのつながりを重視している点について、保護者、中学校の先生方に知っていただきたい。
- ・今後も委員の皆様より忌憚のない意見いただき、本校の教育充実へとつなげたい。

以上